


アルミニウム中空角材の可変断面押出し

このテーマのキーワード	押出し、アルミニウム、可変断面、中空角材
関連するSDGs開発目標	

研究内容(社会背景・目的、概要、期待される効果)

(社会背景・目的)

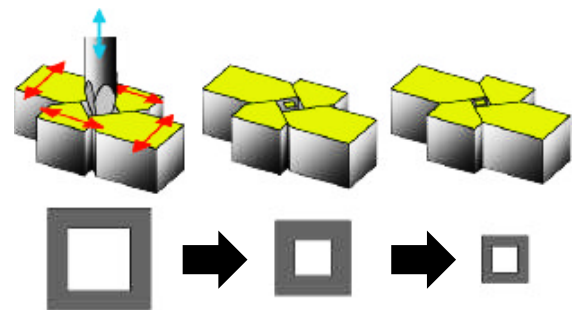
今日、各分野で温暖化をはじめとする地球環境やエネルギー消費への配慮が強く求められおり、例えば自動車産業では、これらの問題を解決するためには車体部分の軽量化が重要であると言われています。

(概要)

可動ダイスと可動マンドレルの空隙に材料を押し流して中空角材を成形します。可動ダイスを摺動させることで成形品の外形寸法を、可動マンドレルを軸方向に移動させることで成形品の内形寸法を変化させることができます。

(期待される効果)

中空の角材の断面形状を変化させながら押出成形するので、従来の二次加工が不要になります。



想定される適用分野・用途・業界

- 自動車の車体をアルミニウムスペースフレーム構造で製作する場合など。

産業界へのアピールポイント

- 使用する箇所に応じた二次加工を省略できれば、製造コストを軽減できます。

総合機械学科 原 薫 教授

このテーマに関するお問合せ ものづくり研究情報センター
E-mail : mric@iot.ac.jp TEL : 048-564-3880